

助成年度：平成 13 年度

[所属] 国学院大学 栃木短期大学
[役職] 教授
[氏名] 谷口 弘一 (他計 3 名)

[課題]

北海道における遺伝子資源保存のための稀少種の生態調査と 稀少種の生息域内保全の研究

[内容]

目的：本研究は 1) 北海道内の稀少保護種の生態を調べること 2) 稀少保護種の増殖と保全を行なうことを目的としている。

方法と経過：稀少種の調査のためのリストを作成した。何回か修正している本報告の科別稀少種一覧が最終のものである。調査方法はビデオによる生態記録とスライドによる記録を行なった。生育範囲確認のため 1m の棒を群生地内に 1~2m で立て生育密度を測定した。群生しないものにはこの方法は適用できなかった。個体測定のため可能な限りスケールを立てた。平成 14 年に記録した種は 200 種である。天候不順でビデオ記録を行なえない種もある。平成 15 年に 60 種を追加した。稀少種の保全はアツモリソウ (4 地点の種)、キタミアツモリソウ、ムラサキ、カキラン、メハジキ、ヤマジノホトトギス、サルメンエビネ、クルマユリ等を行なった。

1) 科別稀少種一覧：

北海道に分布する稀少保護種として環境省、北海道庁リスト、私の調査結果を加味して、Level I II III に作成したリストは表 I である。環境省リストは 139 種、北海道庁リストでは 224 種、私の Level I 144 種、Level II 225 種となる。本報告では Level I 及び Level II について述べる。カッコは Level I と II、科別で多いのはユリ科 33 種 (22)、ラン科 72 種 (61)、ナデシコ科 17 種 (14)、キンポウゲ科 31 種 (19)、スミレ科 25 種 (21)、イチヤクソウ科 8 種 (5)、ツヅジ科 23 種 (9)、サクラソウ科 16 種 (13)、リンドウ科 14 種 (9)、ゴマノハグサ科 19 種 (18)、アブラナ科 11 種 (9)、ユキノシタ科 17 種 (12)、バラ科 21 種 (15)、マメ科 14 種 (13)、キキョウ科 11 種 (9)、キク科 40 種 (28) となっている。科別一覧から見ると対象種として 513 種のうち環境省リスト 139 種、北海道庁リスト 224 種、谷口の Level I 144 種、Level II 225 種、Level III 112 種、群落 43 種にのぼる。Level I と II の合計 370 種が今後の対象種として必要であろう。